

# 実習日誌 (第 4)

平成 25年 5月 16日 木曜日		天候 晴れ
項目	内容	
始業前	打ち合わせ、SHR	1日の確認、SHR指導
第1時限	現代文 2-45	授業見学 『山月記』
第2時限	現代文 2-67	授業見学 『手の変 <sup>エフ</sup> 』
第3時限	先生と語り	『羅生門』知談の感想について
第4時限	打ち合わせ	担当授業の打ち合わせ
昼食時	昼食	昼食、授業準備
第5時限	古典 2-123 〇	授業見学 『竹取物語』
第6時限	/	
第7時限	/	
放課後	部活動指導・清掃指導	南階段清掃指導・茶道部 <sup>学級</sup> 日誌
<p>だんだん暑くなってきて、生徒の服装も夏らしくなってきました。季節を感じやあいのほ、私の学校の等好まなところだ。SHRは相変わらず緊張してしまうが、クラスには大分慣れたと思う。清掃の時間には、昨日と同じ班の場所へ行ったが、班員それぞれと語りすることができた。しかし、まだ話せていない生徒、一方的に接しづらいと思ってしまう生徒がいるのも事実である。これらの気持ちは生徒に伝わるので、分け隔てなく関係を築けるようにしたい。部活動の時間には茶道部へ行った。(月、火)と、生徒会本部へ行ったときもそうだったが、OBというように生徒が感じてくれた授業時間よりも濃く生徒と接することができた。その中に、昨日の鳳凰学で話をしたクラスの生徒もいて、受験についてマ大学についての相談を受けた。少しでも大学選びにおける視野を広げ、受験へ向かう生徒の背中を押しやるような指導ができていたら嬉しい。また、HRの生徒の、部活で見せる顔、HRでの印象とは違った一面を見ることができたのもよかった。授業については、4限の打ち合わせ(担当時限)を決めたので、しっかりと練っていきたい。</p>		
<p><b>指導教諭評</b> SHRでの話の最後に、おもむろに黒板に鴨川などの図を書き、京都での生活の様子を説明したのは、ただ単に話をするのではなく、「何が始まるんだろう」と興味関心を持たせて話を聞かせることができていたのもいいアイデアだった。 清掃活動では生徒達とコミュニケーションを取る時間が持てているようですね。是非そういう時間を大切にしてください。先生の様子を直接見ているわけではないのですが、今後は少しずつでもいいので先生の目から見て清掃の仕方をより良くできるようなアドバイスや声かけ(指導)にチャレンジしてみてください。</p>		
		指導教諭印

## 実習日誌 (第 5 日)

平成 25 年 5 月 17 日 金 曜日		天候 晴れ
	項 目	内 容
始 業 前	打ち合わせ、SHR	1日の確言思、SHR指導
第 1 時 限	古典 2-4.5	授業見学
第 2 時 限	授業準備	「雪のいと高き降りたるを」1時間目の準備
第 3 時 限	国語総合 現代文 1-34	授業見学
第 4 時 限	現代文 研究 2年	授業見学、参加
昼 食 時	昼 食	昼食、授業準備
第 5 時 限	報告会、 <sup>関東大会</sup> 実行会、生徒総会	体育館にて 全校行事
第 6 時 限		
第 7 時 限		
放 課 後	清掃指導、HR、生徒会部	職員室清掃、
<p>今日のSHRでは、国語の小テストの結果について指導をしなければならなかった。204の結果が前回までに比べて思わしくなかったためである。「ガツンと」言うことは難しい。普段、生徒と接するときもそうだが、つい、自分がよく思われたいと考えてしまい、注意をすることになりがちが出してしまう。生徒のために必要なことは何かをよく考え、時には厳しい指導もできる教員になりたい。それでこそ、本当の信頼関係にもつながるのだと思う。また、自分の授業に向けた準備を進めているが、相当な準備が必要なおことを痛感している。今まで見学させていただいた先生方の授業を参考に、できるだけの準備をして臨みたい。今日は小説を教える際の参考に、と1年次の羅生門の授業を見学した。改めて、小説に対して関心が高く、鋭い指摘をみると感じた。全ての生徒を納得させること<del>は</del>なくとも、それぞれの生徒に、何からの新たな発見があるような授業をつくりたいと思った。</p> <p>話したことのある生徒が どんどん増え、休み時間や放課後に話しかけられると本当に嬉しい。たった5日間でも、自分から関わっていく姿勢を見せれば、人間関係はできていく。<del>残り2週間も、1日1日を大切に、夫々に学び、夫々に楽しみたい。</del></p> <p>指導教諭評</p> <p>人間関係が出来ていない集団に対して、ガツンと指導を入れるというのは至難の業ですね。我々の業界では「支援をするほど指導が入る」というのが常識ですから…私なら「11の間に全員合格をプレゼントして」「1位をひき目見てからお別れしたい」と情に訴えろか、差し入れのお菓子を「祝学年小テスト1位の景品」ということにして人參をぶら下げてしまうか(笑)…いずれにせよ期限付という立場を逆手にとって概知に高人に指導を模索してみたい。</p>		
		指導教諭印

# 実 習 日 誌 (第 9 日)

平成 25 年 5 月 23 日 木 曜日		天候 晴れ
	項 目	内 容
始 業 前	打ち合わせ、SHR	1日の確認、SHR指導
第 1 時 限	授業準備	2、3限の準備
第 2 時 限	現代文 2-6.7 三森	授業 ② 山月記
第 3 時 限	現代文 2-4.5 三森	授業 ③ 山月記
第 4 時 限	指導案作成	研究授業 指導案作成
昼 食 時	昼食	昼食、授業準備
第 5 時 限	授業検討 <small>ハテスト 点数入力</small>	今日の授業の反省会、成績入力
第 6 時 限	/	/
第 7 時 限	/	/
放 課 後	清掃指導、部活指導	教室清掃、茶道部
<p>今日は現代文『山月記』の授業を行った。反省すべき点は、一番伝えたいはずの季徴の人柄について表面的にしか説明できなかったこと、生徒が今何をやる時間なのかを（話を聞く、考える、ノートをとる）明確にできなかったことである。これを改善することを目指し、授業構想や準備の工夫をしていきたい。また、全体を見渡すための視線の動かし方や、話し合い指導を入れるときのポイントなどについて、先生からいただいたアドバイスを生かしたい。</p> <p>本授業を終えると一気に疲れが出るが、そんなとき、生徒との関わりが前向きにさせてくれる。私はよこいサークルに所属しているのだが、それを知ったHRの生徒が、学園祭の2年次対抗のダンスによこいの要素を取り入れてみたいと相談に来くれた。このことが本当に嬉しかった。また、私を探して学級日誌を届けてくれたり、掃除の時間に、「授業で必死なのが分かりました」と話してくれる生徒もいる。授業の準備が忙しくなってくるが、生徒との関わりを大事にしたいという実習前の思いを忘れない、一日の貴重な時間を過ごしていきたい。</p>		
<p>指導教諭評</p> <p>教材研究は大変ですが、勤めて何年か経つと、今度は研究をする時間がとれません。教材研究に明け暮れていた頃が、懐しく思えます。教育実習の先生方は、生徒と年齢が近く且つ評価が伴わない分、我々とはひと味違った関わりができるので、<span style="float: right;">に</span></p> <p>試行錯誤している生徒達の相談にのってあげてください。 <span style="float: right;">より洗練させて</span></p> <p>後の世代に伝えられるようにアドバイスをすること、教師の <span style="float: right;">指導教諭印</span></p> <p style="text-align: center;">大事は後日です。</p>		